

# 書院造の現在

日本建築学会関東支部

平井聖先生講演会

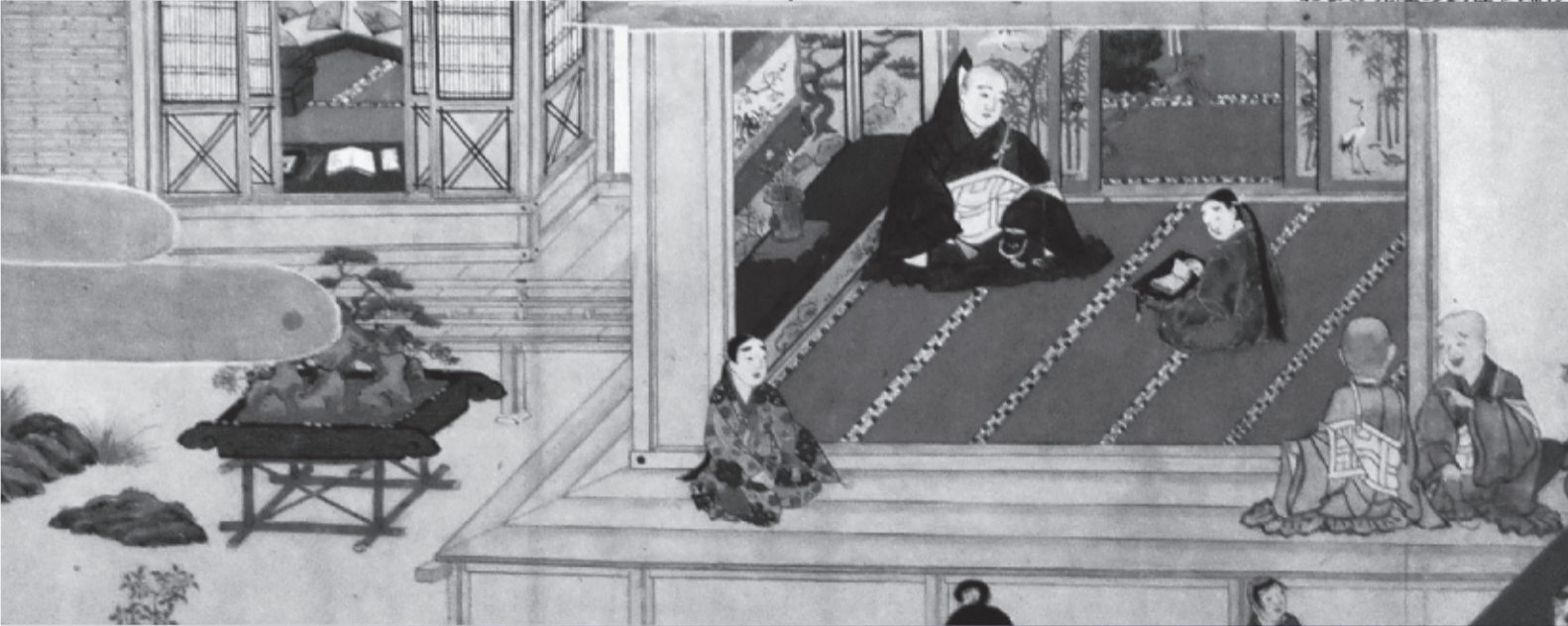
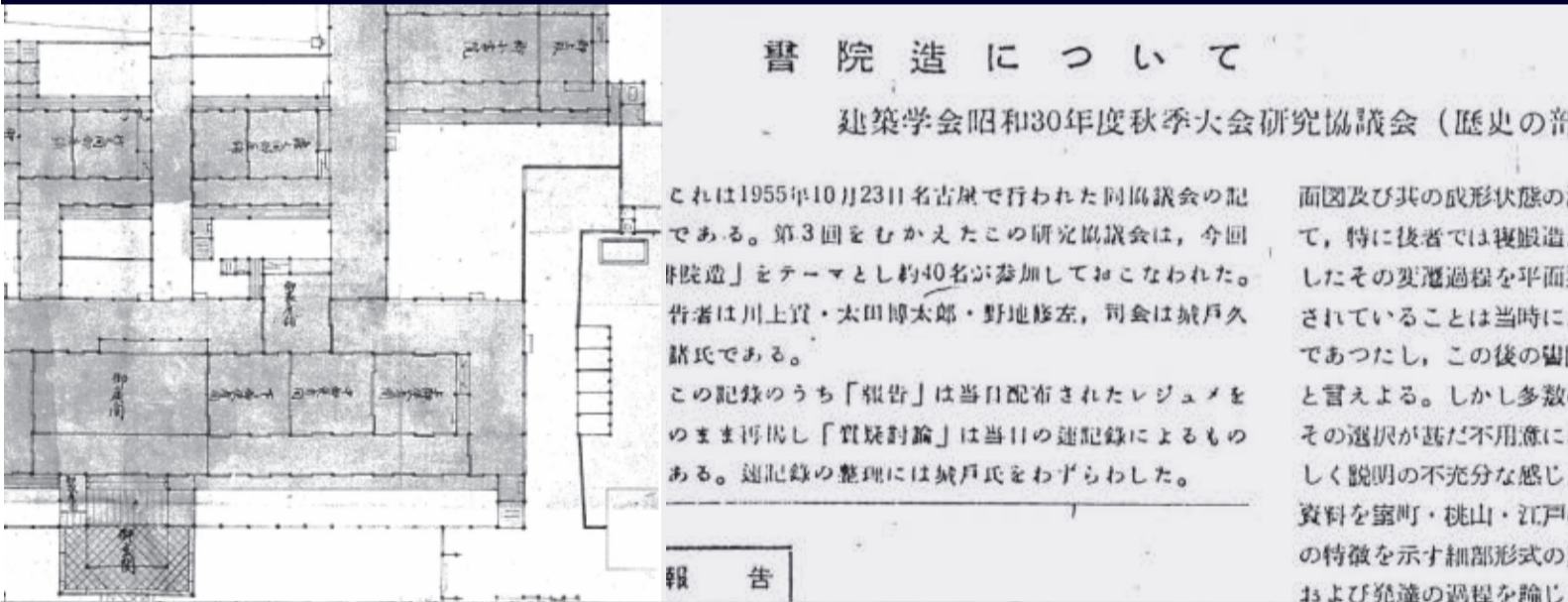


## 「書院造の現在（いま）」

日本建築史を語る上で重要な建築様式のひとつ、書院造。建築を学ぶ我々には疑念を挟む余地もないようにみえるこの住宅の様式は、果たして不変かつ自明の様式なのか。本講演会では、昭和30年日本建築学会大会における書院造論争を出発点に、日本住宅史研究の第一人者である平井聖先生の長年の取り組みからみえてきた、書院造研究の最新成果と展望についてお話を伺いながら、参加者とともに「書院造の現在（いま）」とその先を考えてみたい。

## シリーズ講演会「生涯建築史学徒の研究ノート」

本講演会は、今日の日本の建築史学を切り拓いてこられた先生方をお招きし、先生の研究の遍歴を紐解きつつ、現在取り組まれている研究活動を中心にお話を伺うことで、建築史の未来を見据えて、先達と後進との世代間交流の場を提供するものです。



主催——日本建築学会関東支部建築歴史意匠専門研究委員会

日時——平成26年2月21日（金）15:00～17:00

会場——日本大学理工学部1号館154教室

（住所：東京都千代田区神田駿河台1-8-14・日本建築学会2013年度関東支部研究報告会会場）

講師——平井聖（昭和女子大学特任教授・東京工業大学名誉教授）

定員——100名（当日先着順）

参加費——一般1,000円、学会員500円、学生無料

問い合わせ——日本建築学会関東支部建築歴史意匠専門研究委員会 藤田康仁 fujita@enveng.titech.ac.jp

申込み——こちらのリンクよりお願いいたします。 <https://www.aij.or.jp/index/?se=sho&id=695>